

施策評価管理シート

2012(平成24)年7月作成

担当部局名	部長名	連絡先 (担当室名)
産業部	橋本 裕徳	63-7625 (農林資源室)

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本施策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	2	森林環境整備

1. 施策の基本方針

Plan

- ・ 多面的機能が持続的に発揮されるよう、機能に応じた森林整備を進めます。
- ・ 効率的かつ安定的な林業を育成するとともに、その経営を支援します。

2. 目標

重点目標

Plan

- ・ 森林の持つ公益性の確保のため、荒廃した森林の管理とその森林資源の有効活用に向け農山村地域だけでなくその周辺地域や市街化地域と連携・協働した取り組みを進めます。
- ・ 森林による恩恵は農山村地域のみならず市街地までもが注がれることから、森林の持つ多様性を広く周知する活動として里山保全活動を支援します。
- ・ 市民公益活動団体やボランティア組織等とも連携・協働の輪を広げ、企業の森林整備・保全活動の促進との連携も視野に入れ進めます。

目標達成に向けた課題

Plan

- ・ 所有者の高齢化や事業者の減少に伴い森林の荒廃は進み、適正な維持管理の推進が必要です。
- ・ 森林の集約化により集団間伐・下刈り等を広域的に行う必要があります。

施策指標(目標)及び達成状況

Plan

Do

施策指標(目標)の内容 (単位)		現状値 (H20)	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2015 (H27)	進捗率
環境林の整備面積及び間伐等の森林施業面積【延べ値】 (ha)	目標	-	-	-	-	88.0	130.0	
	成果	46.3	65.0	68.4	80.5			41%
下刈り、枝打ち、間伐等の森林施業面積(環境林を除く)【延べ値】 (ha)	目標	-	-	-	-	402.6	552.6	
	成果	194.7	250.7	291.8	345.0			42%

3. 取組内容

課題解決への取組内容

Do

- ・ 荒廃した森林の適正な管理に向けて、効率的な施業を行うための集約化を進めました。
- ・ 森林組合等の林業団体と連携し、広域化と団地化に向けた取組を進めました。

地域等との連携、協働に向けた取組

Do

- ・ 山村地域に加えその周辺地域や市街化地域との連携と協働を進めました。
- ・ 認定事業体と連携し、森林集約化を図りました。。また、モデル事業として緊急間伐促進事業を実施しました。

4. 施策達成のための事務事業及び評価

(合計 6 事業)

Do

Check

事務事業シート番号	事業名・担当室名	事業費 (単位：千円)		事務事業シートでの今後の方向	施策達成への貢献度	施策達成への重要度	
		2010 (H22)	2011 (H23)				
1108	美しい森林づくり基盤整備交付金事業	農林資源室	874	1,998	継続(現行)	A	A
1209	森林経営計画作成推進事業	農林資源室	-	200	継続(拡大)	A	A
3053	間伐実施事業補助金	農林資源室	394	500	継続(拡大)	A	A
3081	緊急間伐促進事業	農林資源室	-	499	継続(拡大)	A	A
5017	林道維持管理費	農林資源室	793	379	継続(拡大)	B	B
6082	林業振興一般経費	農林資源室	150	266	継続(現行)	B	B
合計(単位：千円)			2,211	3,842			
小計(うち、一般会計分)			2,211	3,842			
小計(うち、特別会計・企業会計・組合会計分)			0	0			

5. 部局による施策評価

Check

評価
事業推進の一部改善
成果・評価理由
<p>間伐等の森林施策は森林組合などの林業団体を中心に進められています。 しかしながら、荒廃した森林の適正な管理に向けて、効率的な施策を行うための集約化を進める必要があります。</p>

6. 今後の施策の方向性、改善方法

Action

<p>分散している森林を取りまとめ、効率的な森林管理や生産活動を行うために、森林境界の明確化や森林経営計画の策定などを通じて、集約化の推進を図ります。</p>

7. 総合評価

評価
B 施策達成に向けた取組や今後の施策展開が適切に行われている
評価理由及びその他(意見)